

一人一人を丁寧に見つめる力を

会長 齋藤 實

来日した外国人に対し、生活用語を基本としたコミュニケーション能力の向上を支援する目的で、スタートしたTIFAの活動も27年目を迎えました。



生産年齢人口が低減している我が国の現状を考えると、有能な外国人労働力に依存せざるをえない現実があります。今後ますます外国人労働者が増加することが予想されます。

この事は、我々の日本語教室の受講生が増えていくことを意味し、立川市の委託事業であるボランティア

活動として、ますます重要性や必然性が高まることとなります。外国人が、立川市に居住して良かったと、安心して安全に生活できるように私たちのボランティア活動は、使命感を持たなければなりません。

現在約80名の登録ボランティアが、毎週木曜日の午前中教室と土曜日毎の夜間教室2教室と合計3教室を年間40回、3学期制で開講しており、年間延べ2500人、30ヶ国の受講生を受け入れております。

日本語教育を基本としながらも、市内各小学校との交流活動や、自由で気軽にお茶のみ話の出来る外国人のたまり場サロン「えんがわ」を開設して4年目を迎えます。このように、活動の広がりも見せております。

最近の受講生の動向をみると、全くの初心者をはじめ、就学児童と親子での来校や技能実習生の企業からの依頼など、ネットで無料教室ということを知って来校するケースも多く、多様性と広域化が見られます。

このように、複雑化していく今後のTIFA活動に、対処していくためには一人一人の受講者に対して、より丁寧に寄り添い、個々人を見つめる力を高めることが必要です。受講者の願いや要望をよく聞きだし、それに沿った指導計画をくみだてるコミュニケーションを十分に取ながら、日々の指導に当たるべきと希望しております。TIFAのボランティア活動の原点は、日本語教育を通じた人間的交流活動であることを改めて再認識した多文化共生社会の実現です。

土曜教室スピーチ大会

11月17日に土曜教室スピーチ大会を実施しました。11か国22名の受講者が発表に挑戦し、熱心にスピーチを行いました。



初級と上級の二つの教室に分かれて緊張したムードの中で進められましたが、発表者の思いに溢れた内容は、出席者に感動を与えました。質問タイムに交わされる応答や会話には、大きな笑いが起こるなど、賑やかな場面も見られました。今回のスピーチ大会は、一か月以上前から原稿作成に取り掛かってもらい、ボランティア講師には添削指導をお願いしました。スピーチには日本語学習の4技能が凝縮されているので、その学習意義を確認しながら、発表までの過程を大切にしてきました。結果は期待通りの立派な出来栄だったと思います。来年度はまた、更に充実したスピーチ大会にしていきたいと思っています。

<発表テーマ>

「自己紹介」「私の町から日本へ」「日本へ来た理由」「ブラジルと日本の違い」「日本語勉強の体験談」「和食と洋食の歴史」「日本に来て楽しかったこと」「中国の誕生日」「日本で一年間」「中華料理」「日本語の勉強をして得た仕事」「防災訓練・日米の違い」「ペルーの文化」「歴史と文化財」「コンピューターゲームと私」「私とベトナム」「私の夢(アニメ)」「日本と中国の文化」「日本で会社生活」「日本の古典の楽しさ」

南砂小学校の6年生と楽しい交流

11月22日、今にも雨が降り出しそうな天気の中、南砂小学校を訪ね交流会をしました。外遊びから校舎に戻る途中の6年生が目敏く私達を見つけ、元気に挨拶してくれました。さすが6年生です。この日は台湾出身のTIFA受講生、珍さんと妍さんが国際交流班6年生の授業に参加してくれました。まずは、教室で20人程の小学生と“すごろくゲーム”です。小学生はゲームのやり方をとても上手に説明してくれました。サイコロは手作り、ポイントの紙にはユニークで楽しい絵がたくさん描かれ、その紙は床に張り付けてありました。進んだり、戻ったりして、TIFA受講生の2人はすっかり小学生に打ち解け、教室は笑いで一杯でした。まだ15分あるというので外へ出て鬼ごっこです。足の速い男子2人が鬼になり、彼らのパワーは凄いです。



運動不足気味の受講生2人はとても敵いません。「ありがとうございました。また来てください。」に笑顔で手を振って学校を後にしました。

TIFA ミカン狩り

11月11日(日曜日)TIFA企画イベントとして、武蔵村山市の内野農園へ行ってきました。参加人数は大人50名(ボランティア8名を含む)、子供13名、これだけの人数は企画の課外イベントとしては、初めての経験です。この日は朝から快晴、絶好の「ミカン狩り日和」でした。

上北台駅午前10時に集合し、ここから約2km、ゆっくり歩いて30分ほどで到着です。村山貯水池南向き斜面に広がる畑では、晴れた日には富士山も見えます。入園料400円を払い、園内のミカンは食べ放題、とは言っても10個も食べれば、おなかがいっぱいになりますよね。狩ったミカンは土産として買い取りとなります。大籠山盛り一杯(約10kg)を土産にした強者もいました。

ここのミカンの味は、多少酸味が強いですが甘さは十分です。私は市場で販売している甘いだけのものより、こちらの方が好きですね。小春日和で、のどかな一日を楽しく過ごすことができました。帰りは現地解散でした。



木曜教室ランチパーティー

12月20日木曜日、2学期最後の教室が終わったあと恒例のランチパーティーが行われました。参加者は受講生、ボランティア、それに子供もいれて45名くらいでした。

齋藤会長の“もったいない”ことにならないようにしようという挨拶のあと食事と交流が始まりました。テーブルの上には参加者の皆さんが持ち寄った自家製と思われるひじき、ちくわ、里芋、こんにゃくなどの和風のものや焼きそば、のりまき、サンドイッチなどのほか季節の果物、プリンやケーキも並んでにぎやかな雰囲気でした。

普段はほとんど話をする事が出来ない受講生同士、ボランティアの方々が片手に自分の名前を書いたコップを持って話をしたり、一緒に食べたりして交流しました。12時15分頃、料理もほぼきれいに完食して、箸、皿などのゴミは用意された袋に入れて各自持ち帰りしました。



TIFA 会員動向

【入会者】

木曜教室、西砂教室：なし
土曜教室：齋藤 知秋

【退会者】

木曜教室、土曜教室：なし
西砂教室：大橋 由貴

【休会者】

木曜教室、土曜教室、西砂教室：なし

今後の予定

- ・土曜教室 節分：2月2日(土)
- ・木曜教室 研修会：2月14日(木)
- ・土曜教室 ひな祭り：3月2日(土)
- ・木曜教室 ランチパーティー：3月21日(木)

連絡

各部ホームページ

立川国際友好協会
<http://tifa-class.net>

TIFA企画
<http://tifa-k.net>

西砂教室
<http://tifa-n.net>



TIFA会報には掲載していない行事や数多くの写真が掲載されています。ぜひご覧ください。